

防災グッズに

お薬手帳を！

この一冊が
あなたを守る



お薬手帳一つで、必要なことがわかる！

避難所や臨時の医療現場では、すぐに情報や資源が手に入りません。そんな時でも、お薬手帳一つで、今まで飲んでいた薬やかかった病気がわかり、混乱した発災直後でも、適切な対応ができるようになります。

さらに

- ・持病やアレルギーの情報
- ・かかりつけの病院や主治医の情報
- ・家族や緊急連絡先などの情報

をまとめておくと自分では伝えられないときも安心！

今から実践！

- ☑ すぐに持ち出せるように普段から場所を確認
- ☑ コピーを防災リュックに入れておく

東日本大震災では貴重な情報源に

東日本大震災では、津波被害等により医療機関や薬局、カルテや薬歴等の医療インフラが大きな被害を受けました。その中で、お薬手帳があることで、スムーズかつ適切に医薬品が供給され、適切に医療が提供される場面が多く見受けられました。



〔医師（兵庫県）・宮城県〕

お薬手帳を持参いただいたため、治療中の病名のみならず履歴を見ることで概ねのコントロール状況などが想像でき病状把握に役立った。

『東日本大震災時におけるお薬手帳の活用事例 平成24年6月 日本薬剤師会』より